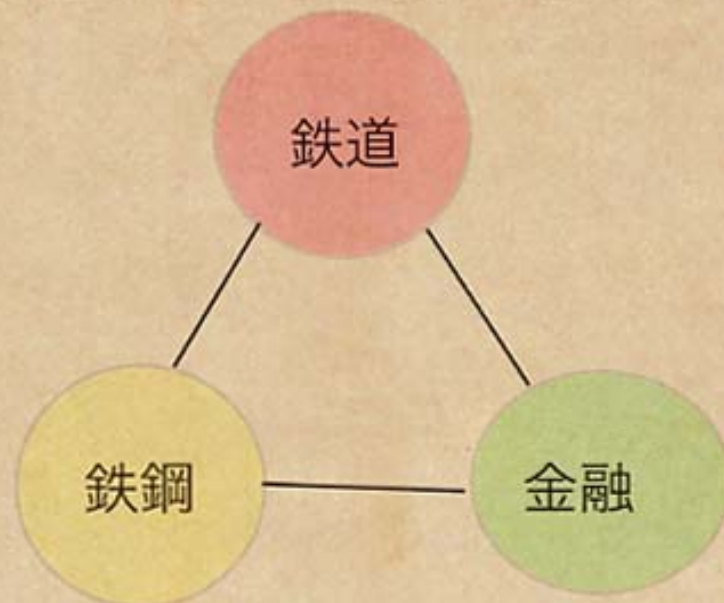


小括 アメリカ経済史学における金融資本分析の系譜

石油トラストの成立と解体（前半）
（時）

西洋経済史B 第6講
2004年11月12日

19世紀後半のアメリカ資本主義発展の三角形



第3講 鉄道における独占の成立過程

- 1 南北戦争後の鉄道の発達
- 2 鉄道の集積と集中 ←1873年恐慌
 - a 第一段階 (1873-87年) : 貨物プール・運賃プール
 - b 第二段階 (1887年-92年) : 輸送量の配分
- 3 鉄道業と金融機関の癒着 ←1893年恐慌
 - c 発生 (1893-97年) : ウォール街による再建
 - d 発展 (1898-1900年) : 競争鉄道会社の統合
 - e 完成 (1901-1907年) : 地域分割協定

第4講 鉄鋼産業における独占の形成

- I. 集積・集中の展開(1873-92)/鉄鋼プールの形成
- II. 勢力再編成(1893-97)/カーネギー制覇
- III. 金融機関の介入/鉄鋼企業統合(1898-1900)
- IV. 生産協定の成立/USスチール成立(1901-07)

第5講 金融部門における独占の形成

- I. 集積・集中の展開(1873-1892)
- II. 銀行グループの形成(1893-97)／金融集団の形成
- III. 金融集団内の銀行合同(1898-1900)
- IV. 金融市場における協調関係の成立(1901-07)／マネートラストの成立

5

- ・ 産業構造の変化が既存集団間の勢力関係に影響・新たな集団の生成と発展を促す。
 - ・ 石油（スタンダード石油）・化学（デュポン）・自動車（GM/Ford）・電気通信（GE/AT&T）などからなる「第二次産業革命」

6

本日のテーマ

- 小括 アメリカ経済史学における金融資本分析の系譜
- 石油トラストの成立と解体（前半）
 - スタンダード石油トラストの成立（1882年）
 - 最高裁命令：スタンダード石油トラスト解体(1912年)→アルフレッド・チャンドラー『経営戦略と組織』（1962年）第4章「場当たりの」再編成

小括 アメリカ経済史学における金融資本分析の系譜

- 金融資本概念
 - ヒルファーディング『金融資本論』
 - レーニン『帝国主義論』1～3章
- 石崎昭彦『アメリカ金融資本の成立』（1962年）
- 吳天降『アメリカ金融資本成立史』（1971年）
- 森たかしによる石崎・吳評価(1976年)
 - 石油トラストの評価

金融資本概念

- ヒルファードィング『金融資本論』
- レーニン『帝国主義論』1～3章

石崎昭彦『アメリカ金融資本の成立』（1962年）

吳天降『アメリカ金融資本成立史』（1971年）

森たかしによる石崎・吳評価(1976年)

- 『アメリカ資本主義史論』（1976年）
- 石油トラストの評価

石油トラストの成立と解体

- スタンダード石油トラストの成立（1882年）
- 最高裁命令：スタンダード石油トラスト解体(1912年)